



# 地震、その時に 地震、その前に

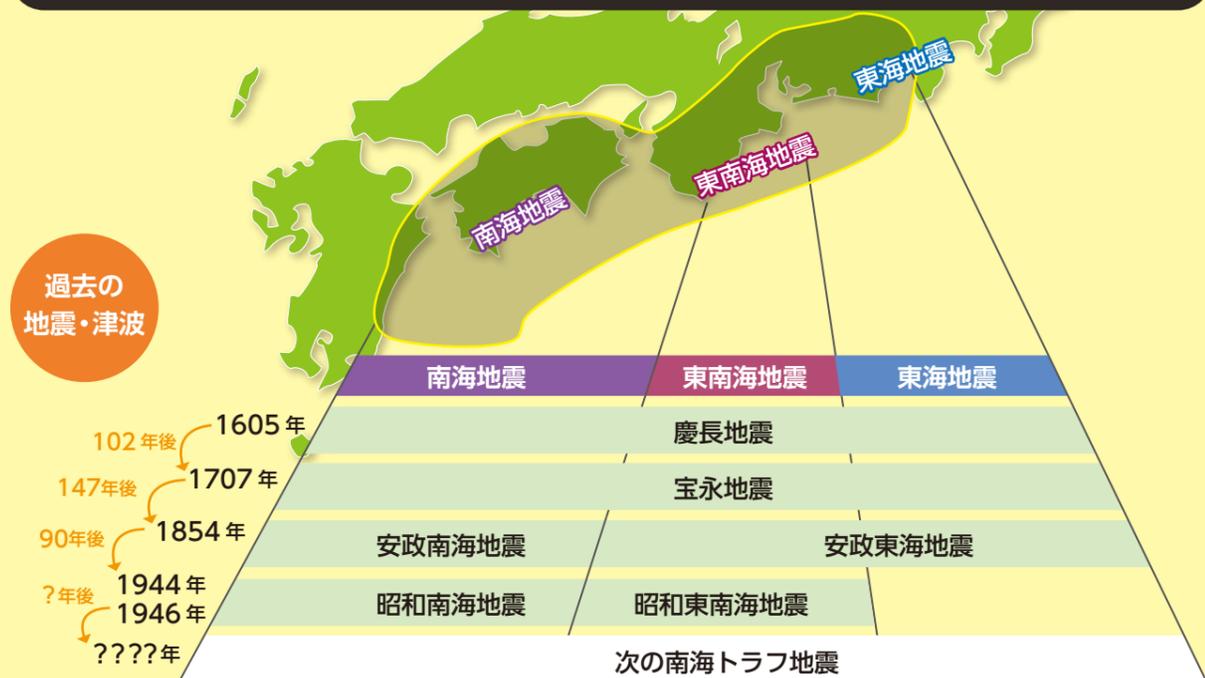
出典：(一財) 消防防災科学センター「災害写真データベース」  
東日本大震災、阪神・淡路大震災

1923年9月1日に発生した関東大震災は、死者・行方不明者が10万人を超える未曾有の大災害となりました。

今年には日本の防災対策の礎となった大震災より100年の節目となります。

地震の備えについて、今一度、考えてみませんか？

## 本市で想定される南海トラフ地震



中央防災会議資料(平成13年6月28日)に加筆

南海トラフ地震は、100～150年の間隔で発生していて、過去には本市でも地震と津波による被害が発生しました。

前回の昭和東南海・南海地震から約77年が経過しており、次の地震がいつ発生してもおかしくない状況です。

## 南海トラフ地震臨時情報

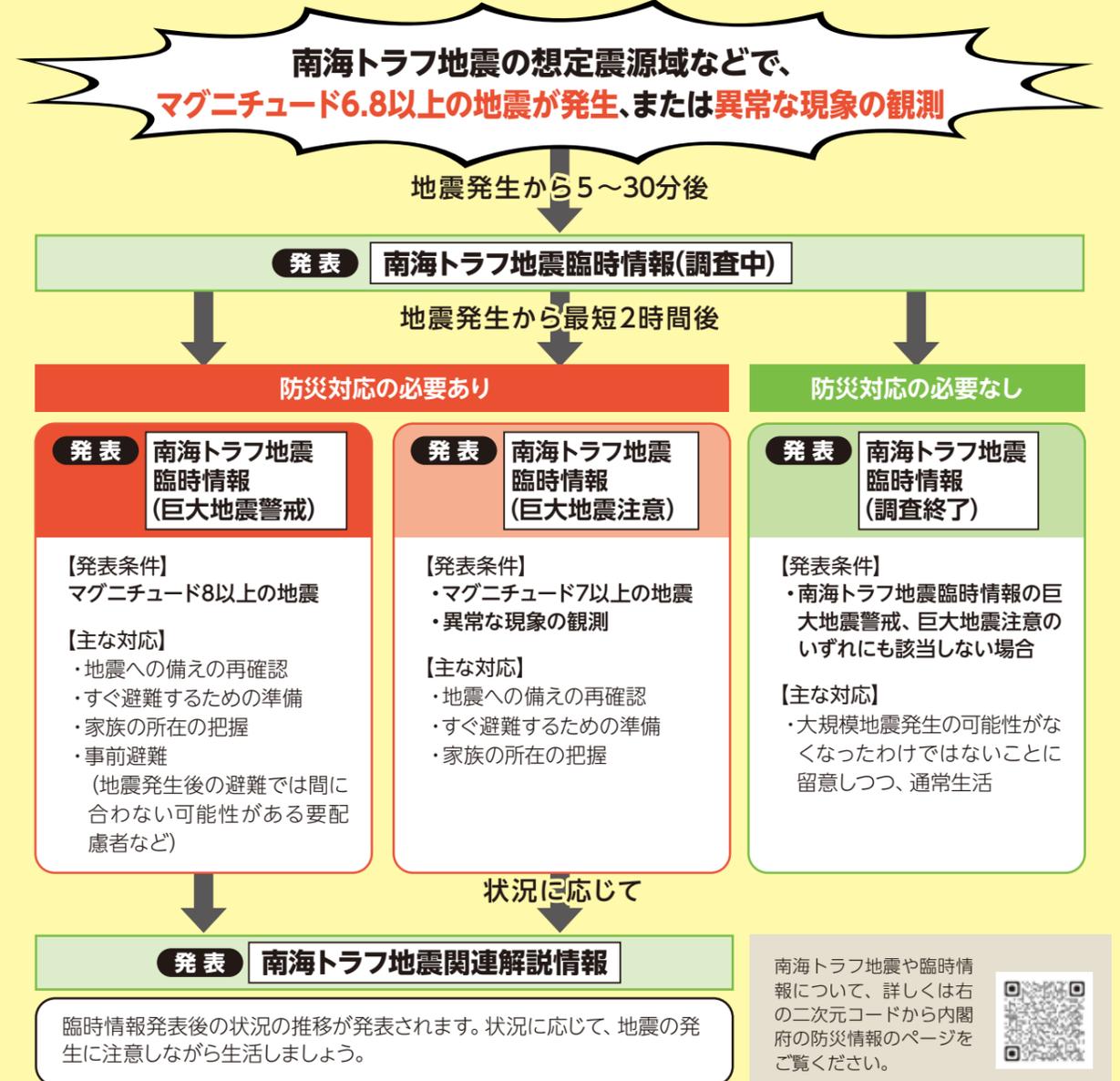
南海トラフ地震は、過去の事例を見ると想定震源域の広い範囲で同時に発生したり、隣接する領域において、時間差で発生したりするなど、その発生過程がさまざまです。

南海トラフ地震臨時情報とは、紀伊半島を境に南海トラフの東側(本市を含む)と西側で地震が時間差で起こる点に着目した仕組みです。

仮に西側で先に南海トラフ地震が発生した場合、本市を含む東側の住民を対象に、南海トラフ地震臨時情報が発表されるため、事前に後発地震に備えることができます。



## 南海トラフ地震臨時情報発表の流れ



# 地震の揺れを、実際に体験してみました！

名古屋大学内にある「減災館」で、地震について体験してきました！



減災館は、減災研究を行う拠点であるとともに、体験スペースを活用した教育や人材育成の場としても活用されています。本市では、防災・減災の取り組みを推進するために、名古屋大学へ受託研究員を派遣しています。

南海トラフは「長周期地震動」らしい



館内職員から、地震には高層階ほどよく揺れる「長周期地震動」と、低層階ほどよく揺れる「短周期地震動」の2種類があるという説明を受け、ジオラマを揺らして確認してみました。



## 低層階と高層階の揺れの違いを体験してみた



低層階と高層階で、揺れ方が全然違う!!

高層階だと横に大きく揺れたよ



## 模型で建物の耐震強度を体験してみた

柱と柱の間に取り付ける補強材や、壁が少ない場合、大地震が発生すると、住宅はどうなるんだろう。



揺らしてみます



バラバラになっちゃった



あっ!

他にも、建物の重心が高過ぎると危険な場合も!?

筋交いや壁は重要なんですね

## 高層階での震度6クラスの地震を体験してみた

揺れはじまりました



手すりにつかまらなければとても立ってられない!!



実際に地震の揺れを体験して、頭では分かっているつもりでも身動きが取れませんでした。体験なので事前に心の準備ができましたが、震度6・7クラスの地震が突然発生した時のことを考えると、備えが必要だと実感しました。

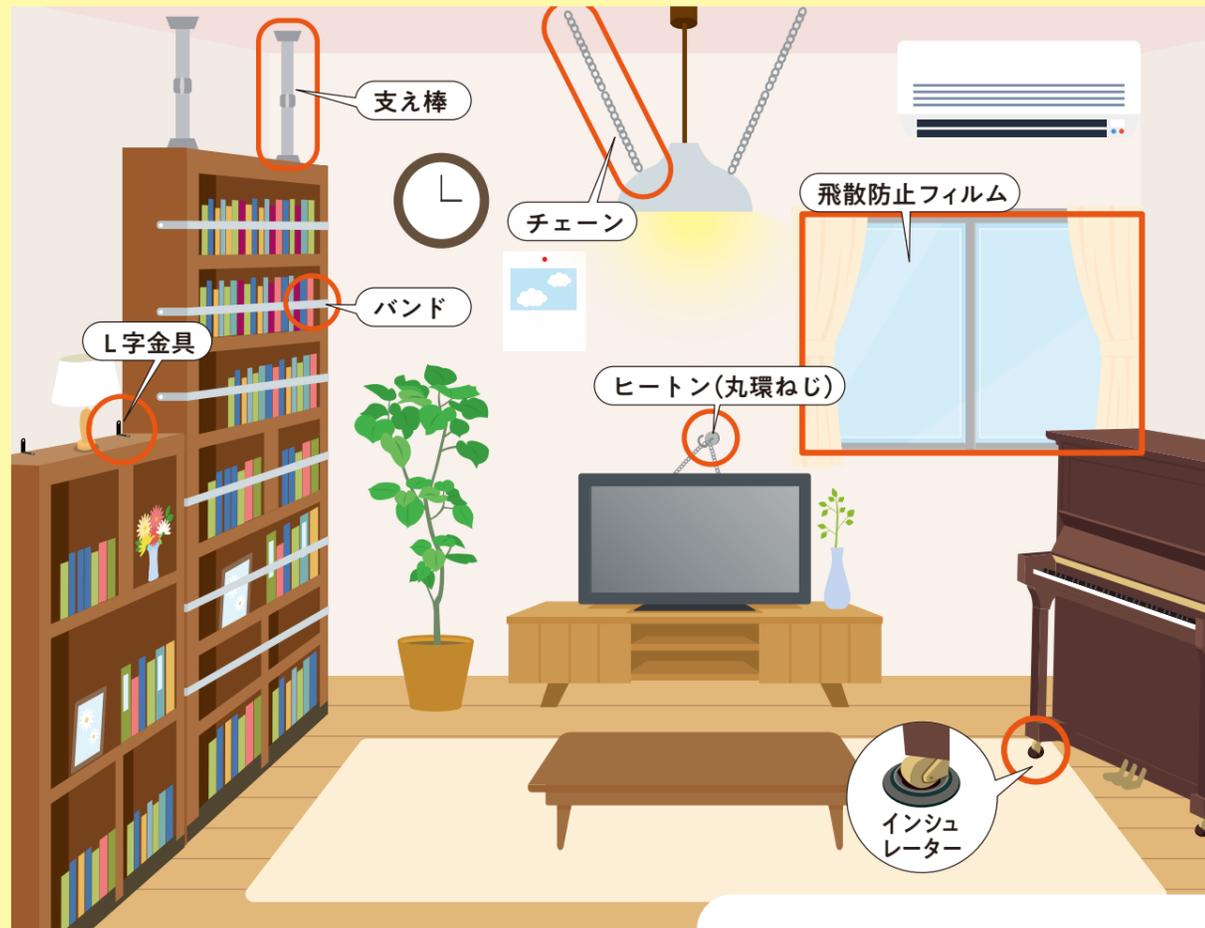
地震の対応は瞬時の判断が必要なので、「今地震が起きたらどう動くべきか、どうしたら家族や周りの人を守るか」を念頭に置いて日々の生活をするのが大切だと感じました。

危機管理課 人見幸希  
(令和4・5年度 名古屋大学受託研究員)

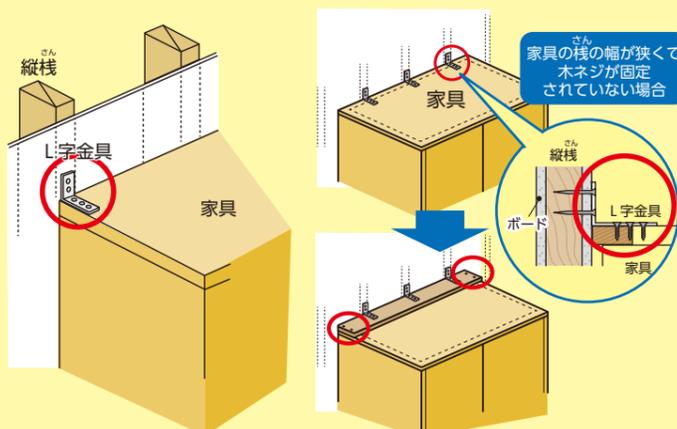


## 自宅の家具を固定しよう！

阪神・淡路大震災における死亡原因の約8割が家屋の倒壊や家具の転倒による窒息死や圧死でした。南海トラフ地震をはじめ、巨大地震の際には家具などが転倒・落下する恐れがあります。地震が起きたときは、何よりも命を守ること、そして、けがをしないことが大切です。そのための対策をしましょう。



壁に固定する場合、  
壁や柱の堅い場所に固定しましょう！



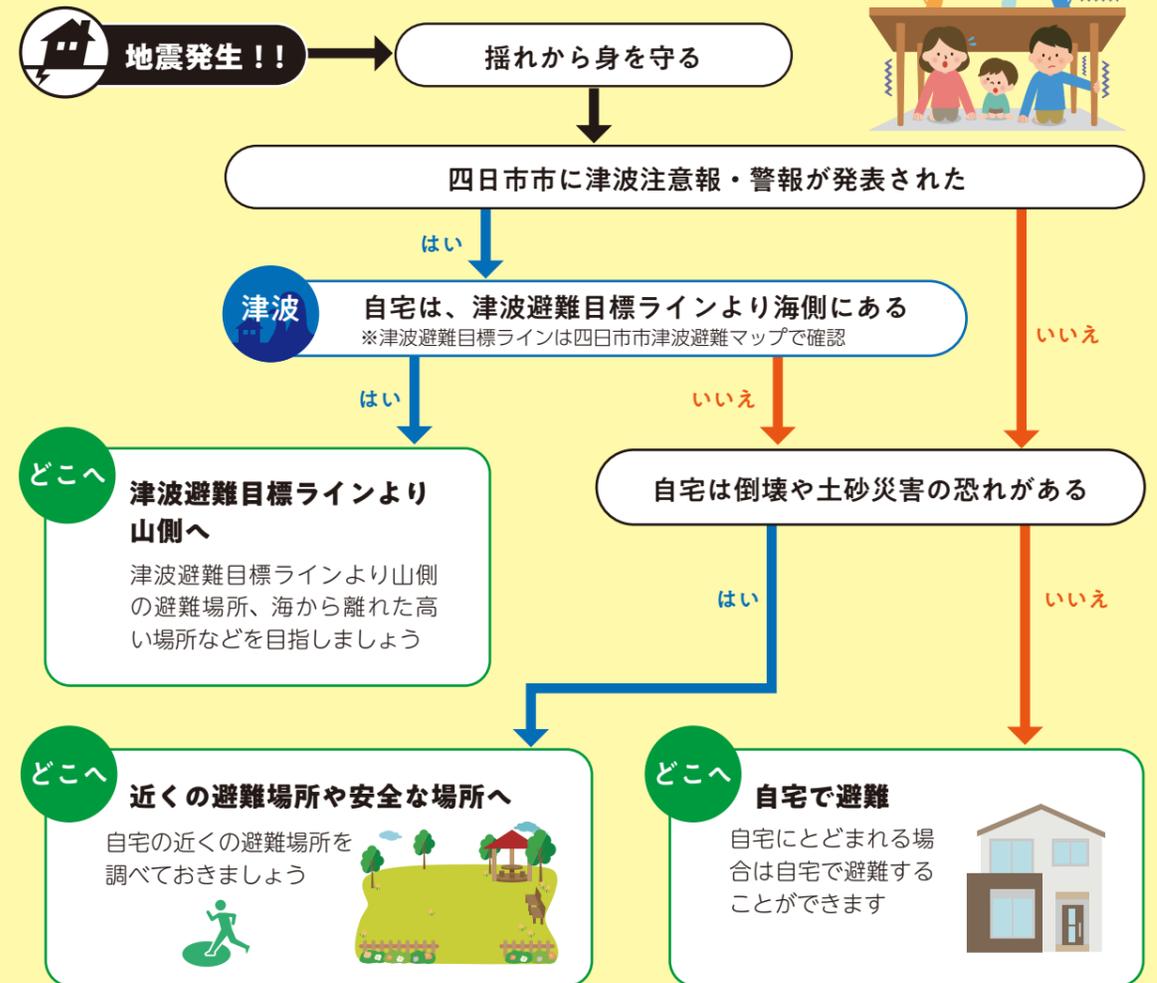
※壁の中の柱などの場所が分からないときは壁を叩いてみましょう！  
柱などがある場合：「コンコン」といった堅い音  
ない場合：「ポコポコ」といった鈍い音

### 防災対策を支援します！

- ひとり暮らし高齢者宅等家具固定事業  
防災指導員による防災診断で寝室の家具固定が必要な場合、市が家具を固定します。  
問 危機管理課地域防災支援グループ (☎ 354-8119)
- 住まいの無料耐震診断事業  
市内にある昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅(丸太組工法、プレハブ工法など以外)は、無料で耐震診断を受けられます。耐震診断の結果によって、補強や除却の補助制度が活用できます。  
問 建築指導課安全係 (☎ 354-8207)
- 瓦屋根耐風改修工事費補助制度  
留付け基準に適合していない瓦屋根の全面改修工事は、改修費や屋根面積に応じて上限55.2万円まで補助が受けられます。  
問 建築指導課許可認定係 (☎ 354-8183)

## 地震発生！避難はいつ、どこへ？

地震が発生したときは、津波や自宅の被害状況に応じた対応が必要です。下記のフローチャートを参考にあなたの避難対応を確認しておきましょう。



### 四日市市防災情報ホームページをリニューアルしました！

トップ画面に避難所開設情報や防災情報を掲載するなど、緊急情報が一目でわかるようになっています。また、避難場所や四日市市津波避難マップなども確認できます。



地震はいつ発生するかわかりません。そのため、普段からの備えが何より重要です。自宅に居る場合、巨大地震が発生した際の強い揺れから自分自身の命を守り、けがをしないためには、建物の耐震化や家具の固定などが必要です。また、地震の際に家族や大切な人と一緒にいるとは限りません。もしもの時にとるべき行動や集合場所などを事前に決めておきましょう。巨大地震が発生すると、電気・ガス・水道といったライフラインが止まったり、生活必需品が手に入らないことも想定されます。自宅で水や食糧など7日間分の備蓄と非常持出袋を準備しておくことが大切です。事前準備をしっかりと行い、もしもの時に自分や大切な家族の命を守れるようにしましょう。

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は 危機管理課 ☎354-8119 FAX350-3022